

病理診断科 初期研修

◇ 研修目標および特徴

病理学的手法により臨床医学を検証し、治療法を論じられる [治療のための病理診断] と主疾患から派生して出現する各臓器の病変等が理解できるようになることを最終目標とする。

◇ 研修内容 (方略)

指導医に従って、外科病理診断 (生検、手術切除標本)、術中迅速診断の診断書作製および細胞診に関して研修を行う。また可能であれば病理解剖に参加し、最終病理解剖診断書を作成する。その他、各科との術前・術後検討会ならびに CPC に積極的に参加して、臨床的思考法や治療法のアプローチへの理解を深める。

◇ 指導責任者

後藤 幸吉

◇ 週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	病理診断 (迅速、細胞診を含む) 症例検討 (マンツーマン指導)	病理診断 (迅速、細胞診を含む)
火	病理診断 (迅速、細胞診を含む) 症例検討 (マンツーマン指導)	病理診断 (迅速、細胞診を含む)
水	病理診断 (迅速、細胞診を含む) 症例検討 (マンツーマン指導)	病理診断 (迅速、細胞診を含む) 臨床病理検討会
木	病理診断 (迅速、細胞診を含む) 症例検討 (マンツーマン指導)	病理診断 (迅速、細胞診を含む) 臨床病理検討会
金	病理診断 (迅速、細胞診を含む) 症例検討 (マンツーマン指導)	病理診断 (迅速、細胞診を含む)

◇ 評価方法

- (1) 各研修医は研修到達度の自己評価を PG-EPOC に入力する。
- (2) 研修指導医は研修期間終了時に、研修医の研修到達度を評価する